



予算特別委員会 審査概要

平成18年予算特別委員会

平成18年度の予算案は、2月28日の本会議初日に上程され、議会は8人の委員で構成する予算特別委員会(委員長・石黒実)を設置しこれに付託し、3月20日・22日・24日の予定でしたが、28日の1日を延長して4日間審査を行いました。

審査の結果、一般会計予算に対する修正案が提出されましたが、修正案は否決され、一般会計予算は原案のとおり可決されました。また国民健康保険・老人保健医療・介護保険・公共下水道・駐車場事業及び受託水道事業の各特別会計予算も原案のとおり可決されました。

以下は各委員から出された主な質疑です。

一般会計の審査から

【総括質疑】

財政基盤の確立と安定について、どのような意思に立脚して18年度の予算編成を行ったか。

近々に発表される狛江市アクションプランは、民間委託の推進・定員管理・給与の適正化等市民にわかりやすく明示した計画となっているのか。第4次基本計画の実施計画と緊急行動計画を含めた行財政改革推進計画をまとめ5年間の行財政の見通しを明らかにしたものになっているのか。アクションプランは、狛江の方向性を決める上で根幹となる大事なプランである。平成18年度予算を審議する上でアクションプランは、欠くことができないものである。予算審議をする前にアクションプランを提出できるか。

予算特別委員会委員

(8名)

委員長	石黒 実
副委員長	鈴木 えつお
委員	須田 繁美
委員	栗山 欽行
委員	大場 てる子
委員	鶴留 美紀
委員	藤田 鋭
委員	西村 雅司

内容は。

・保育園の耐震診断の実施は。(衛生費)

・基本健康診査予算が増額されたが、受診について市民への周知方法は。

・粗大ゴミの収集手数料のシール化実施に向けてのスケジュールとその効果の見込みは。(農業費)

・農業振興計画策定委員の構成とスケジュールは。

・農業振興計画の改定に伴う基本的な考え方は。

(土木費)

・一の橋交差点の改良工事について、市の道路行政に対する基本姿勢は。

・テーマ型まちづくり協議会の提案を行政はどのように取り込むのか。(消防費)

・震度計が設置され市はどう変わるのか。

・武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づく協議会や対策本部の条例条文の説明を市はしているが、具体的な中身が議論されていない状況で予算計上してよいか疑問である。(教育費)

・地域安全マップ作成状況はいかがか。

・市民プールの部材診断調査結果が出た後の対応はどう考えるか。

・市民ふれあい広場の代替地は検討しているのか。

※アクションプランとは

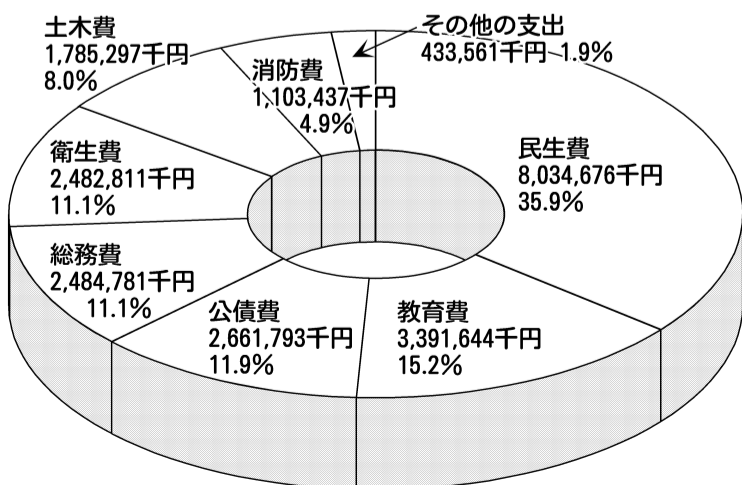
総務省が全自治体に対して、行財政改革のより一層の推進を図るため、具体的実効性を伴った「集中改革プラン(平成17)

21年度)の策定を求めたのに対し、狛江市では、総務省の求める「集中改革プラン」を、形式的に受け入れるのではなく、行財政改革推進計画と実施計画を統合し、より予算との整合性を

を図った行政運営計画として、スクラップだけでなく、ビルドの部分も見せた「狛江市アクションプラン」を策定し、これを「集中改革プラン」として位置

一般会計

歳出予算額 22,378,000千円



歳入予算額 22,378,000千円

